

# ①河川や湖沼の群落駆除

## 建設機械や作業船を用いた除去



集材用のスイングヤーダによる除去  
(琵琶湖博物館 中井克樹氏提供)



作業船を用いた沖合からの群落除去

- 除去できる群落面積：約300m<sup>2</sup>/日
- 除去後、残存断片や漂着断片によるリバウンド発生も。  
→ 跡地の定期的な巡回・監視、再除去が必要。

# ①河川や湖沼の群落駆除

## ジェット水流による除去（小規模群落）



消防用ノズルの噴射による地下部掘削



下流側で洗い出された断片を回収



サクションホース  
給水用のエンジン  
ポンプ

- 労力例：約25m<sup>2</sup>の群落除去に6人×5時間
- 完全除去には複数回の作業が必要
- 土性によって適・不適がある

砂礫質：○、泥質：×



# ①河川や湖沼の群落駆除

## 遮光シートによる群落抑制



厚さ0.5mmのゴムシート（遮光率100%）による  
水位変動下のため池法面における群落抑制

遮光率99.85%下の抑制状況

- 遮光率99.85%では再生。100%遮光が必要。
- 完全駆除には1.5年以上（内藤2015）かかる。



# ①河川や湖沼の群落駆除

遮光シートによる群落抑制（排水路底面への敷設例）



・労力：3.6×5.4mの防水シート敷設に3人×2時間（敷設前の植生除去やシート流出防止ロープの固定含む）



# ①河川や湖沼の群落駆除

遮光シートによる群落抑制（排水路底面への敷設例）

敷設125日後



ガスによる浮きがみられたが、ナガエツルノゲイトウは確認できない。



シートを敷設していない区間にはナガエツルノゲイトウが繁茂。



# ①河川や湖沼の群落駆除

※人力による除去



市民、大学生を中心としたボランティアが参加する駆除事例（千葉県桑納川）  
2016年は年5回、のべ281名が参加し、河川内の群落は大幅に縮小。

- 市民参加型だと啓発も兼ねられる。
- イベント的で除去ムラも。 → 刈り取ることが目的化？
- コロナ禍の影響で活動が各地で縮小 → 持続性に課題